

平成28年度 観光振興施策の実施状況



目次

I	3つの核となる重点施策	
	1 観光目的客の取り込み ～個人旅行の誘客促進～	1
	2 ビジネス目的客の取り込み	3
	3 「訪日外国人4000万人時代」に向けた取組み	4
II	7つの基本方針	
	1 将来の観光を担う人材の育成	6
	2 「阿波とくしま」の魅力あふれる観光地づくり	8
	3 新たな観光旅行の開拓と滞在型観光の推進	16
	4 情報発信の強化による「観光とくしまブランド」の確立	18
	5 国際観光の推進	21
	6 広域観光の推進	25
	7 「阿波とくしま」らしいにぎわいの創出	26
III	徳島県観光振興基本計画数値目標 平成28年度進捗状況一覧	28

I 3つの核となる重点施策

1 観光目的客の取り込み ～個人旅行の誘客促進～

方向性

個人の価値観やライフスタイルの変化等により、会社の慰安旅行等の団体旅行が減少し、家族や友人・知人等と出かける個人旅行が観光の主流形態となっていることから、「個人旅行の誘客促進」につながる施策に重点的に取り組みます。

(1) 誘客コンテンツの整備

■阿波おどりの通年活用

- ・本県が世界に誇る阿波おどりの通年化に向け、「はな・はる・フェスタ」の春の阿波おどり、8月の本番に加え、「秋の阿波おどり」を開催し、有名連による「阿波おどり大絵巻」や、県外連を対象とした「全国阿波おどりコンテスト」などのイベントも行い、観光誘客を推進した。（観光政策課）

◆秋の阿波おどり H28.11.26～27 入場者数19,500人 コンテスト参加10連

■集客力の高いイベントの展開

- ・「マチ★アソビvol.16」(H28.5.3～5.5)、「ぶち★アソビvol.5」(H29.3.4～3.5)「マチ★アソビvol.17×国際アニメ映画祭」(H28.9.24～10.10)の開催を支援した。
- ・第9回「とくしまマラソン」(H28.4.24)、第10回「とくしまマラソン」(H29.3.26)の開催準備を行った。（にぎわいづくり課）

■「おどる宝島！パスポート」の充実強化

- ・本県の認知度向上や観光客の増加を図るため、パスポート形式のスタンプラリーを行った。
 - ◆H28年度 おどる宝島！パスポート発行数 約16万冊（累計）
 - ◆H28年度 おどる宝島！パスポートおもてなし施設数 約700施設
(うち淡路島約50施設)
- ・「おどる宝島！パスポート」の英語版・繁体字版を運用した。（観光政策課）

■他県に勝てる「食の名物」を創造

- ・阿波尾鶏指定料理店、徳島産はも指定料理店の登録の推進等により、徳島ならではの食を提供した。（農林水産部）

■体験型教育旅行の推進

- ・本県の体験型観光の更なる質の向上等、先進地域としての更なるステップアップを推進し、体験型観光のブランド化を図る取り組みを促進した。（観光政策課）

◆全国ほんもの体験ネットワーク総会 in 徳島
日程：H29.3.4
参加者：体験型観光推進団体等の関係者82名



マチ★アソビ

(2) 効果的な情報発信

■旅行者に「直接届く」効果的な魅力発信

- ・旅行雑誌「じゃらん」への広告掲載、旅行サイト「じゃらんnet」で観光情報掲載を行った。(観光政策課)

■重点発地でのプロモーション

- ・首都圏、関西圏に加え、空路で繋がる札幌においても観光プロモーションを開催した。
 - ◆「羽田空港」徳島観光プロモーション H28.7.22~24 H28.11.13
 - ◆「札幌」徳島観光プロモーション H29.3.15~17
 - ◆「JAL JAPAN PROJECT」によるPR展開 H28.6の1ヶ月間(観光政策課)



じゃらん広告



「羽田空港」徳島観光プロモーション

(3) 旅行商品の造成促進

■商談会、ファミツアーの実施

- ・旅行会社向けプロモーションとして商品説明会8回、ファミツアー1回実施。(観光政策課)
 - ◆商品説明会
 - ・3旅連合同徳島キャラバン(大阪 H28.9.15)
 - ・2016しあわせぐるり、しこくるり。四国観光商談会(東京 H28.9.29、大阪H28.10.12)
 - ・徳島観光キャラバン(東京H29.3.22~23、札幌H29.3.15~17、福岡H29.3.20~23)
 - ◆ファミツアー
 - ・首都圏旅行会社招聘ファミツアー H28.11.26~28

■発地の旅行会社への強力な営業

- ・本県の認知度向上や観光客の増加を図るため、徳島の観光素材や宿泊及びバスの助成制度などをプレゼンテーションし、旅行会社に対し効果的に情報提供を行い、商品の造成促進を図った。(観光政策課)
 - ◆JR四国 大阪商品説明会 H28.5.17

2 ビジネス目的客の取り込み

方向性

企業・産業活動や研究・学会活動等と関連するコンベンションは、多くの集客交流が見込まれ、宿泊、飲食、物産、交通など地域経済への効果のほか、学会開催による研究開発支援などの波及効果も期待できることから、学会、大会、競技大会など「コンベンション誘致の促進」につながる施策に取り組みます。

■大会誘致の促進

- ・コンベンション主催者に対する開催経費や郷土芸能等のアトラクション、シャトルバス運行等の助成を行い、さらに延べ1000泊以上のコンベンションについては、県立施設の使用料相当額の助成を行うことで、大会誘致増に繋がった。（県観光協会）
- ・国際ミーティングエキスポ及び東北地区&中国四国地区合同コンベンション誘致懇談会へ参加し、コンベンション助成内容を発信した。（県観光協会）
 - ◆第26回国際ミーティングエキスポ（横浜市）
H28.12.6~7 入場者数2,791人
 - ◆東北地区&中国四国地区合同コンベンション誘致懇談会（東京都）
H29.1.31 招待者数128人
 - ◆大阪MICEディスティネーションショーケース（大阪市）
H28.9.1 招待者数100人
 - ◆韓国教育旅行誘致事業
H28.9.30~10.4 参加者5人
 - ◆香港MICE取扱旅行社招聘事業
H28.6.15~19 参加者5人



国際ミーティングエキスポ



東北地区&中国四国地区合同
コンベンション誘致懇談会

3 「訪日外国人4000万人時代」に向けた取組み

方向性

国においては、平成25年6月に「観光立国実現に向けたアクション・プログラム」を策定し、東南アジア諸国のビザ要件緩和等、観光立国の実現に向け取り組んできた結果、平成25年の訪日外国人旅行者数年間1,000万人を史上初めて達成し、オリンピック・パラリンピック東京大会が開催される2020年には4,000万人の高みを目指すとしています。

本県においては、最近の円安傾向やLCC（格安航空会社）などの新規就航等による航空座席供給量の増加等の訪日観光に対する追い風を最大限に活かし、これまでの東アジアや東南アジアに向けた団体旅行中心の誘客に加え、個人旅行の誘客、欧米でも人気のあるお遍路やアニメなど、「求められる観光資源」を「求める市場」に情報発信し、外国人観光誘客を推進します。

■ 国、地域の特性に合わせた誘客の推進

- ・重点市場である香港、台湾の旅行会社やメディアを招聘し、本県の観光PRを行った。また、海外における旅行展示会への出展や旅行会社との商談、セミナー等を実施した。（国際課）

さらに、SNSによる情報発信を行い、一般消費者に向けても本県のPRを行った。

- ・シンガポールで開催された「S J 5 0 M A T S U R I」に阿波おどりを派遣するとともに、本県の観光・物産の紹介を行った。また、他県との連携により海外の旅行会社やメディアを招聘してのファムツアーを実施した。（国際課）

■ 効果的な情報発信

- ・徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」外国語版ページ（英語・中国語簡体字・同繁体字・韓国語）のデザインを改修、コンテンツを拡充し、県内の観光情報を発信した。（国際課）
- ・英語によるフェイスブックページ「Discover Tokushima」及び香港・台湾・タイ市場向けのフェイスブックページを開設し、多言語により情報を発信した。（国際課）



旅行展示会



タイ語パンフレット

■ M I C E の誘致

- ・国際ミーティングエキスポ、東北地区&中国四国地区合同コンベンション誘致懇談会等へ参加し、主催者等に対する誘致PRを展開した。(県観光協会)
 - ◆第26回国際ミーティングエキスポ(横浜市)
H28.12.6~7 入場者数2,791人
 - ◆東北地区&中国四国地区合同コンベンション誘致懇談会(東京都)
H29.1.31 招待者数128人
 - ◆大阪MICEディスティネーションショーケース(大阪市)
H28.9.1 招待者数100人
 - ◆韓国教育旅行誘致事業
H28.9.30~10.4 参加者5人
 - ◆香港MICE取扱旅行社招聘事業
H28.6.15~19 参加者5人

■ ニューツーリズムの推進

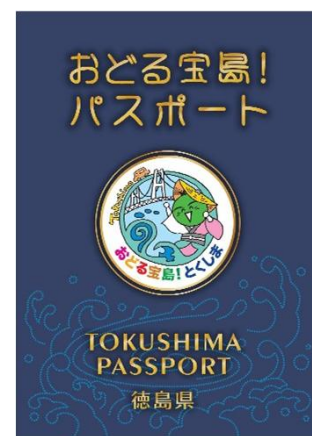
- ・四国各県の連携により、遍路文化をテーマに観光庁の広域観光周遊ルートとして認定された「スピリチュアルな島~四国遍路~」および各県の観光資源を紹介した。(国際課)
- ・上海で開催されたアニメイベントにおいて「マチ★アソビ」をPRし、誘客を行った。(国際課)
- ・アニメキャラクターや作品群を活用し、徳島ならではのコンテンツに磨きをかけ、国内外に情報発信するとともに、交流の拡大を図った。(にぎわいづくり課)

■ 受入環境の整備

- ・「徳島県訪日外国人受入環境整備事業助成金」の制度を実施し、県内事業者を対象に多言語表記やW i - f i 環境整備等に関する経費を助成をした。(国際課)
- ・平成28年3月に発足した善意通訳団体「徳島GGクラブ」の活動を支援した。(国際課)
- ・中国四国及び兵庫県等との連携により、外国人旅行者向けの高速度周遊割引企画「山陰・瀬戸内・四国エクスプレスウェイパス」の発行を開始した。(国際課)
- ・国内外からの観光誘客を一段と加速させるため、徳島ならではのクルーズ客船の積極的誘致活動やおもてなしの充実強化を図った。(運輸政策課)



ダイヤモンドプリンセス



おどる宝島! パスポート
(英語版)

II 7つの基本方針

1 将来の観光を担う人材の育成

方向性

徳島県には、長年にわたるお接待文化により培われた「訪れる人を迎えるおもてなしの心」があります。こうした強みにさらに輝きを増し、「徳島県が目指すべき将来像」の実現に向けた県民総ぐるみのおもてなしの向上のため、地域の観光リーダーをはじめ徳島県の将来の観光を担う人材の育成を推進します。

(1) 観光に対する理解と関心の醸成

■小中高等学校での学習の推進

- ・幼稚園児から小学生までを対象に、郷土徳島を理解し、楽しみながら徳島の魅力を学習するために配布した「阿波とくしま観光かるた」を使って「第7回阿波とくしま観光かるた大会」を開催した。(県観光協会)

■郷土を再発見できる講座の開催

- ・徳島の魅力を体感し、その良さを発信できるよう、座学やフィールドワークにより郷土の良さやその価値について学ぶ講座を開催した。(県立総合大学校本部)
- ・8.11の「山の日」制定にあわせた剣山登山や吉野川でのラフティング体験など、にし阿波ならではの魅力を再発見する「地域づくり実践講座」を開催した。(西部総合県民局)
 - ◆地域づくり実践講座 4回開催 参加者計143人
- ・阿波人形浄瑠璃の後継者育成のため、伝承教室を開催した。(教育文化課)
- ・徳島の文化・自然・くらし等に関する地域に密着した学習を通して、「ふるさと徳島」を再発見するための講座や、地域の活性化、特色ある地域づくりなどの取組につながる講座を開催した。(総合教育センター)
 - ◆オンリーワンとくしま学講座 全18回開催 参加者計2,104人

■郷土について学びたい方への学習情報の提供

- ・「県民“まなび”拠点」である徳島県立総合大学校において、高等教育機関や民間教育機関、NPO法人、市町村等の関係機関との連携を推進し、より充実した生涯学習情報をワンストップで提供した。(県立総合大学校本部)
- ・生涯学習に関する6種類の情報(講座・イベント、人材・指導者、団体・サークル、施設、視聴覚教材、マナビィセンター図書情報)を提供し、県民の学習支援を行うとともに、生涯学習の関心・意識の向上を図った。(総合教育センター)

(2) 「おもてなしの心」を生かした観光客の受け入れ

■ 主要観光地等でのガイドによる対応

- ・ガイド人材発掘調査により発掘した人材を対象に、スキルアップ研修、実地研修を行い、即戦力となるガイド人材を養成した。(西部総合県民局)
- ・2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、来県する外国人観光客に対し、郷土徳島の魅力を英語で発信できる人材を育成した。(学校教育課)
 - ◆Tokushima英語村プロジェクト・ステップアップ事業
 - 日 程：H28.6～H29.1の間で計8回
 - 受講生：県内高校生20名程度
- ・県内観光ボランティア団体等を対象としたレベルアップ研修会や交流会等を実施するとともに、新規発足の団体に対する育成支援を行った。(県観光協会)



ガイド育成研修

(3) 観光の振興に寄与する人材の育成

■ リーダーの育成 / 観光従事者の育成

- ・体験型観光に精通した専門家からのアドバイスを受けながら、コーディネーターのレベルアップを図るための研修会を行った。また、新たな地域における体験型観光をコーディネートする組織を整備するなどの取組を促進した。(県観光協会)

■ 外国人観光客に対応できる人材の育成

- ・善意通訳団体「徳島GGクラブ」において、外国語を用いた観光案内シュミレーションを実施した。(国際課)

■ 観光分野でのICT活用人材の育成

- ・県内在住の観光振興に興味がある人材を対象に、ICTを活用した情報提供を呼びかけ、徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」等を通じて広く情報発信を行った。(県観光協会)
 - ◆観光情報サイトアクセス件数 78万件

2 「阿波とくしま」の魅力あふれる観光地づくり

方向性

徳島県が誇る観光資源により一層磨きをかけ、新たな観光資源を掘り起こすとともに、安心して快適な旅行を楽しんでいただけるホスピタリティなど観光地としての魅力の向上に努め、観光客に「行ってみたい」、「来て良かった」、「また来たい」と思っただけの魅力あふれる観光地づくりを推進します。

(1) 住んでよし、訪れてよしの観光地づくり

■観光客との交流が生まれる観光地づくり

- ・美波町及び牟岐町の空き家を改修し、地域の交流施設として活用した。（住宅課）

■地域が一体となって取り組む観光地づくり

- ・鳴門の渦潮の世界遺産登録に向け、文化遺産の観点から学術調査を実施した。また、取組について、地域住民や地域外からの来訪者に対する普及啓発を行った。（総合政策課）
- ・「四国八十八ヶ所霊場と遍路道」の世界遺産登録に向け、「札所霊場」と「遍路道」について文化財保護法での保護を進めるため、史跡指定の拡充に向けた調査等を実施するとともに、世界遺産登録に向けた機運の醸成を図った。（総合政策課）
- ・閑散期である冬季に、国内外から幅広い観光客を誘客するため、三好市の「四国酒まつり」、美馬市の「うだつをいける」等と連携した情報発信を展開した。（西部総合県民局）

■ユニバーサルツーリズムの推進

- ・「観光ユニバーサル大賞」において、外国人を含めた県外からの観光客が安全に安心して快適に利用できるような取組等を行っている個人や団体を顕彰していくことにより、観光客をもてなす県民意識の醸成とまちづくりの取組みを推進した。（地域福祉課）
- ・外国人にもわかりやすい観光案内標識の整備を行った。（道路整備課）
 - ◆歩行者用多言語標識6箇所：南小松島駅周辺
 - ◆英語標識10箇所：鳴門北IC、道の駅にしいや、南阿波サンライン、オーシャン東急フェリー埠頭



(2) 観光資源の育成

■お遍路と県内各地での観光の組み合わせ

- ・「四国八十八ヶ所霊場と遍路道」の世界遺産登録に向け、札所霊場と遍路道について文化財保護法での保護を進めるため、史跡指定の拡充に向けた、札所寺院の調査等を実施するとともに、世界遺産登録に向けた機運の醸成を図った。(総合政策課)
- ・各地の自然や、四国八十八箇所をはじめとする歴史的・文化的遺産などに親しみながら、歩いて四国を一周できる「四国のみち」の整備を推進した。(環境首都課)

■伝統芸能の振興、活用

- ・二度の国民文化祭により醸成された文化振興の機運と磨き上げた地域ならではの文化資源を活用することにより、県民の誇りや心豊かなくらしを創出するとともに、国内外との交流促進による地域の活性化を図ることで「文化立県とくしま」を実現させるため、「徳島ならではの文化資源を活用した地域活性化モデルの構築」「音楽文化が息づくまちづくり」「文化の力によるまちづくりに意欲的に挑戦する市町村や文化団体への多面的支援」などを行う「文化立県とくしま推進事業」を実施した。(とくしま文化振興課)
- ・「おどる宝島！とくしま魅力体感博2016メインイベント」として、「秋の阿波おどり」を開催した。(観光政策課)
 - ◆秋の阿波おどり H28.11.26~27 入場者数19,500人 コンテスト参加10連
- ・「はな・はる・フェスタ」への助成を通じ、「春の阿波おどり」を活用した誘客を図った。
 - ◆「はな・はる・フェスタ2016」 来場者数 22万人
- ・首都圏のイベントなどにおいて、阿波おどりや阿波人形浄瑠璃を披露し、PRを行った。(東京本部)
- ・大阪・神戸において「阿波おどり教室」を開講し、関西阿波おどり協会の連とともに「徳島市阿波おどり」への踊り込みを実施することにより、阿波おどりの魅力を伝えた。また、観光・物産展などのイベントの場で、阿波おどりを披露しPRを行った。(大阪本部)
- ・県外でのイベントや観光キャンペーン等に「阿波おどり」を派遣し、その魅力を実際に体感してもらうことにより、本場徳島への誘客を促進した。(観光政策課、東京本部、大阪本部、名古屋事務所)
- ・「徳島市阿波おどり」の際に、無料栈敷やにわか連、総合案内所の運営、交通円滑化の事業に助成するとともに、県外客への県庁外来駐車場の開放や駐車場情報の提供を行った。
- ・アスティとくしま内を阿波おどりの練習場所として提供した。

■伝統工芸の振興、活用

- ・東京の百貨店での工芸品展に、阿波正藍しじら織を出展し、伝統的工芸品産業の振興を図った。(観光政策課)
 - ◆伝統的工芸品展 WAZA 2017
H29.2.16~21 東京都東武百貨店池袋店
- ・阿波おどり会館「あるでよ徳島」で藍染め、しじら織シャツの販売を実施し、地場産業の振興を図った。(観光政策課)

■宿泊施設、飲食店等における地元食材の活用

- ・地産地消協力店制度や阿波尾鶏指定料理店、徳島産はも指定料理店の登録推進等により、徳島県産メニューを提供する飲食店等と連携して県外客にPRを行った。
 - ◆阿波尾鶏指定料理店 103店
 - ◆徳島産はも指定料理店 33店(もうかるブランド推進課、畜産振興課、水産振興課)

■観光資源の掘り起こし

- ・四国DCに向け、市町村をはじめ観光関連団体と連携し、着地型旅行商品の造成を支援した。(観光政策課)
- ・国内外から観光誘客の促進、地域資源を活用した誘客コンテンツの創出を図るため、「マチ★アソビ」や「とくしまアニメ大使」を活用した「売れる県産品」の開発及びPR冊子を作成し、情報発信を行った。(にぎわいづくり課)
- ・文化の森総合公園各館(図書館、博物館、近代美術館、文書館、21世紀館、鳥居龍蔵記念博物館)において、年間を通じ企画展等を開催し、徳島の文化創造活動の発展を支える拠点として、観光客の誘致を図った。(文化の森振興本部)
- ・LEDを効果的に取り入れた光の名所と呼べる場所やモニュメント等を「光の八十八ヶ所」として認定し、ホームページ等で広く情報発信を行った。(新未来産業課)

(3) 郷土料理や物産など総合的な魅力向上

■徳島ならではの食の提供

- ・阿波尾鶏指定料理店、徳島産はも指定料理店の登録の推進等により、徳島ならではの食を提供した。(もうかるブランド推進課、畜産振興課、水産振興課)
 - ◆阿波尾鶏指定料理店 103店
 - ◆徳島産はも指定料理店 33店(もうかるブランド推進課、畜産振興課、水産振興課)
- ・徳島県酒造組合等、関係機関と連携して地酒の振興を図った。
 - ◆第8回美郷梅酒まつり(吉野川市) H28.11.26~27
 - ◆第18回四国酒まつり(三好市) H29.2.18
 - ◆日本酒フェア2016(東京都) H28.6.18
 - ◆第3回「四国×酒国」(大阪市) H28.6.5
- ・「徳島ラーメン店MAP」を作成・配布するとともに、「おどる宝島!魅力体感博」パンフレットにより地元食文化の魅力発信を行った。(県観光協会)

■ 県産品のブランド化推進

- ・「徳島ならではの優れた県産品」である「とくしま特選ブランド」を、新たに66点認定した。（観光政策課）
 - ・羽田空港で藍染め作品の展示や藍染めファッションショーなど、「阿波藍」の魅力を前面に押し出した「観光キャンペーン」を実施した。（観光政策課）
 - ・日本航空（株）との間で、「観光」や「食」の振興など5分野において「包括連携協定」を締結するなど、徳島ブランドを発信した。（観光政策課）
 - ・木頭ゆずのEU市場におけるシェアを高めるため、県内初となる「地理的表示制度・GIマーク」の取得を進めるとともに、発進力や購買力に強い影響力を持つシェフやメディア等を産地に招聘する見学ツアーを実施し、新たな需要の開拓や販路開拓を図った。（南部総合県民局）
 - ・本県の酒造りの振興を図るため、LEDの光を活用して育種に成功した新酵母「LED夢酵母」仕込みの日本酒を開発・販売する県内酒造メーカーの支援を行った。（新未来産業課）
- ◆ 県内酒造メーカー9社が37銘柄日本酒を開発・販売



とくしま特選ブランド

■ 県産品の販路拡大・販売促進

- ・ 部局間連携により、事業者の認知度拡大と全国への販路拡大の強化を図った。
 - ◆ 中四国イオン会見本市 H28.9.14~15
 - ◆ スーパーマーケットトレードショー2017 H29.2.15~17
 - ◆ フードテックス2017 H29.3.7~10
- ・ 世界に羽ばたく「とくしま県産品」として、海外における県産品の認知度向上と販路拡大、本県への観光誘客につなげるため、香港で県産品PRを行った。（観光政策課）
 - ◆ 徳島県フェア H29.2.28~3.6
- ・ 首都圏及び関西圏の消費者に対し、県産食材の販売プロモーションを実施し、認知度向上、販路拡大を図った。（もうかるブランド推進課）
 - ◆ トップセールスの開催
 - H29.2.18~19 徳島グランヴィリオホテルにおいて、東京都内の飲食店13店舗参加による産地ツアー
 - H28.11.30 大阪市中央卸売市場において市場PR、大阪市内のホテルにおいて、知事、青果卸売会社、県内JAとの意見交換

(4) 地域の観光の振興に関する総合力の向上

■観光地の連携による周遊型観光の推進

- ・県西部において、滞在プログラムの商品化及び流通に向けた検討会を開催するとともに、これまで造成してきた滞在プログラムや素材を県内でつなげる旅行プラン案等を掲載したパンフレットを作成し、情報発信及び観光案内等に活用した。(西部総合県民局)
- ・本県の認知度向上や観光客の増加を図るため、パスポート形式のスタンプラリーを行うなど、広域的な観光ルートの開発や発信に努めた。(観光政策課)
 - ◆H28年度 おどる宝島！パスポート発行数 約16万冊(累計)
 - ◆H28年度 おどる宝島！パスポートおもてなし施設数 約700施設
(うち淡路島約50施設)

■観光地における表示の統一

- ・観光庁が策定した「観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン」等により自治体等がコンセプトを共有できるよう周知を図った。(国際課)

■観光に関する情報の共有化

- ・徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」において、季節ごとに旬の情報を収集、発信した。また、開催中の地域イベントに参加し、体験談などを随時SNSで発信したほか、市町村や市町観光協会等から情報提供してもらい、観光情報の発信に努めた。

■観光従事者の育成

- ・体験型観光に精通した専門家からのアドバイスを受けながら、コーディネーターのレベルアップを図るための研修会を行った。また、新たな地域における体験型観光をコーディネートする組織を整備するなどの取り組みを促進した。(県観光協会)



コンセプトロードパンフレット

(5) 自然環境及び良好な景観の保全

■自然体験活動等を通じた環境学習の推進

- ・環境学習を通して小中学生の問題解決力を育むため、地域と学校等が連携し、コミュニティを通じた環境学習が実践できるよう、環境アドバイザーの派遣や学習教材の提供などの支援を行った。また、環境学習の取組みが広がるよう、環境活動成果の発表会を実施した。(環境首都課)
- ・「県立神山森林公園イルローザの森」の適正な管理運営を行うとともに、県外客に対する情報発信や子供を対象とした「木育広場」のPRを強化するなど、森林公園への誘客を図った。(林業振興課)
- ・牟岐少年自然の家において、子供の健全な育成を図るため、小・中学生に自然体験、集団宿泊体験の機会を提供した。また、県内外の一般の利用者に対しては、様々な体験活動メニューの提供と主催事業を実施した。(生涯学習課)

■環境と景観の美化

- ・アドプト・プログラム吉野川を推進し、吉野川の環境美化を進めた。(県民環境政策課)
- ・「ごみゼロの日」キャンペーン、「ごみゼロ阿波踊り」、「ごみゼロ阿波おどり大作戦2016」をはじめ、各地域、各環境ボランティア団体とともに協働して、環境と景観の美化に向けた普及啓発に取り組んだ。(環境首都課)
- ・遍路道等における環境美化を促進するため、関係団体との連携のもと、粗大ゴミ・大量投棄ゴミの撤去を協働して行うなど、主体的に取り組む市町村を支援した。(環境指導課)
- ・県管理の土木施設(道路、河川、公園等)について、アドプト契約を締結したボランティア団体等に対して、保険加入などの支援を行った。(県土整備政策課)
- ・住民と行政が協働で道路景観の向上を図り、地域の歴史・文化や自然を活かした地域づくりを支援する「とくしま風景街道」の取組みを推進した。(道路整備課)
- ・「とくしまマラソン」のコースとなっている吉野川において、雄大で風光明媚なその魅力を最大限に輝かせるため、ボランティア団体等と連携し、河川堤防等を桜など四季折々の花々で彩った。(河川整備課)



四季彩マラソンロード事業

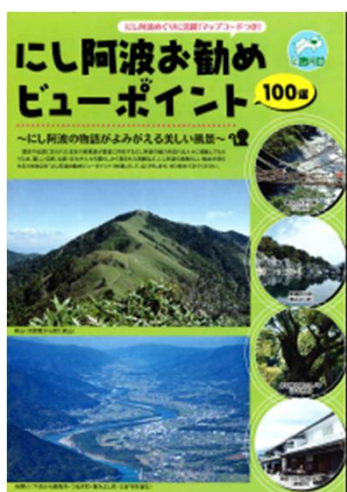
(6) 観光客の利便性の向上

■着地型観光での利便性の向上

- ・「にし阿波お勧めビューポイント」をホームページやパンフレットなどにより広くPRし、「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」の魅力向上に繋げ、観光客の当地への来訪滞在の促進を図った。(西部総合県民局)
- ・アウトドアイベント参加者を中心に、スポーツ以外の食をはじめ地域資源に関する情報サイトの案内を行い、圏域の魅力について情報発信を行った。(南部総合県民局)

■一次交通の向上

- ・徳島阿波おどり空港発着路線の維持・拡充を図る利用促進事業を実施した。
- ・四国を循環する高速交通ネットワークである「四国8の字ネットワーク」や主要幹線道路の整備を推進した。(高規格道路課)
 - ◆四国横断自動車道
 - ①徳島JCT～徳島東 用地取得・工事促進
 - ②徳島東～小松島 用地取得・工事促進
 - ③小松島～阿南 用地取得・工事促進
 - ◆阿南安芸自動車道
 - ④桑野道路 設計協議・用地取得促進
 - ⑤福井道路 設計協議促進
 - ◆一般国道55号
 - ⑥牟岐バイパス 用地取得・工事促進
 - ⑦阿南道路 工事促進
 - ◆一般国道192号
 - ⑧徳島南環状道路 用地取得・工事促進
 - ◆一般国道32号
 - ⑨猪ノ鼻道路 工事促進
 - ⑩32号改築防災 調査設計促進
- ・徳島小松島港沖洲(外)地区に、船舶の大型化や緊急物資の海上輸送に対応した、耐震強化岸壁を有する複合一貫輸送ターミナルの整備を推進した。(運輸政策課)



にし阿波お勧めビューポイント



複合一貫輸送ターミナル

■二次交通の整備

- ・観光客の県内での交通の利便性を確保し、広域周遊観光の促進による滞在時間や宿泊者数の増加を図るため、県内の交通結末点と観光地を結ぶ定期観光バスや周遊バスの実証運行を行った。（観光政策課）
- ・地域住民の生活交通手段を確保するため、地域間の幹線となるバス路線を支援することにより、観光客にとっても広域の移動手段が確保され、利便性が向上した。（次世代交通課）

■道の駅での的確な情報提供

- ・市町村と連携しながら産直市が楽しめるなど、地域交流等拠点施設を目指し「道の駅」のサービス機能の強化を図った。（道路整備課）

■駐車場の確保

- ・徳島市阿波おどりの開催期間中、県外ナンバーの車両に対して県庁駐車場を開放し、観光客の利便性の向上を図った。（観光政策課）
 - ◆最大利用時 210台
- ・鳴門公園への観光客が集中するゴールデンウィークやお盆期間中において、無料駐車場の設置や無料シャトルバスを運行するなど、地元の市、関係事業者、指定管理者と連携し、渋滞の緩和対策を行った。（にぎわいづくり課）
 - ◆ゴールデンウィークの利用状況
 - 最大利用時 無料駐車場450台、シャトルバス運行7台
 - 施設利用者 42,616人
 - ◆お盆期間中の利用状況
 - 最大利用時 無料駐車場250台、シャトルバス運行6台
 - 施設利用者 25,020人

（7）安全及び安心の確保

■事故、災害への備えに関する情報発信

- ・災害時に海外や県外からの観光客をサポートするため、主要な観光案内所、宿泊施設等で構成する「にし阿波トラベルステーション」の効果的な運用に取り組むとともに、幅広い外国人に対応可能な多言語指差し会話集（日、英、繁、簡、韓、仏）等を作成した。（西部総合県民局）
- ・「防災」及び「高規格道路の整備によるストック効果」に関するパネル展を開催した。（高規格道路課）

■事故、災害発生時の迅速かつ的確な情報提供

- ・防災・危機管理情報「安心とくしま」ホームページにおいて、大雨に関する情報をはじめとした様々な危機事象について、迅速かつ正確な情報の周知に努めた。（危機管理政策課）
- ・災害時における通信手段の確保を図るとともに、平時には観光情報等の提供・発信に活用するため、避難所や観光施設等に整備した「とくしま無料Free Wi-Fi」の運営を行った。（地域振興課）

3 新たな観光旅行の開拓と滞在型観光の推進

方向性

観光客の多様なニーズに応える旅行プランが提供できるよう、新たな観光旅行の開拓に努めるとともに、徳島県の魅力をより一層実感していただけるよう、本県ならではの魅力あふれる観光資源を活用した体験型観光などに積極的に取り組むことにより、滞在型観光を推進します。

(1) 新たな観光旅行の開拓

■グリーン・ツーリズム、ブルー・ツーリズムの推進

- ・農林漁家民宿等を対象に、インバウンド受入のための外国語会話や身振り語研修等を行った。また、農林漁家民宿を紹介する県ウェブサイトの多言語化、外国人向けのコンセプトブック作成やウェブマガジンへの記事投稿により、インバウンド受入に向けた農山漁村の魅力発信を行った。（農山漁村振興課）
- ・「南阿波よくばり体験」、「そらの郷山里物語」を中心とした体験型観光について、地域が一体となった取組みを支援した。（観光政策課）
 - ◆H28年度 体験型教育旅行の受入泊数 6,302泊

■エコツーリズムの推進

- ・本県の優れた自然景観を有する自然公園の管理等を行った。（環境首都課）

■医療観光の推進

- ・上海からの医療観光トライアルツアーを実施するとともに、旅行商品造成に向けて海外への情報発信や人材育成に努めた。（国際課）

■食を活用した観光の推進

- ・徳島ラーメン、豆天玉など徳島特有の食文化の情報発信を積極的に行い、観光客の来訪の促進に努めた。（観光政策課）
- ・「徳島の活鱧」のブランド品目としての確固たる地位を築くため、首都圏における需要の新規開拓や「日本三大はも祭り！」でのPR強化を図った。（水産振興課）
 - ◆「日本三大はも祭り」におけるPR<祇園祭、天神祭、阿波おどり>
- ・「梅酒まつり」、「四国酒まつり」等のイベントへの協力により、周遊型観光の誘客を推進した。
 - ◆第8回美郷梅酒まつり（吉野川市） H28.11.26～27
 - ◆第18回四国酒まつり（三好市） H29.2.18

■体験型教育旅行の誘致

- ・海外の学校や旅行会社等への訪問や招へいなどの誘致活動を行うとともに、通訳の派遣などニーズに応じた支援を行うことにより、将来的な可能性を有する若年層の交流を推進した。（国際課）
- ・徳島県月見が丘海浜公園において、緑豊かな海浜の景観、公園施設を活かしたバーベキュー体験等を通じて、キャンプ体験型旅行の誘致を行った。（都市計画課）

(2) 観光客の滞在促進

■ 観光資源の特色を生かした観光プランづくり

- ・団体旅行等の需要喚起のため、貸切バス利用の県内宿泊旅行商品に対する助成を行い、県内宿泊を推進した。(県観光協会)

■ 観光地の連携による周遊型観光の推進

- ・県西部において、滞在プログラムの商品化及び流通に向けた検討会を開催するとともに、これまで造成してきた滞在プログラムや素材を県域内ではつなげる旅行プラン案等を掲載したパンフレットを作成し、情報発信及び観光案内等に活用した。(西部総合県民局)
- ・本県の認知度向上や観光客の増加を図るため、パスポート形式のスタンプラリーを行うなど、広域的な観光ルートの開発や発信に努めた。(観光政策課)
 - ◆H28年度 おどる宝島!パスポート発行数 約16万冊(累計)
 - ◆H28年度 おどる宝島!パスポートおもてなし施設数 約700施設
(うち淡路島約50施設)

4 情報発信の強化による「観光とくしまブランド」の確立

方向性

多くの観光客に選択される徳島を目指して、自然、文化、体験、食など多くの宝にあふれた本県の魅力を発信し、「阿波とくしま」の知名度向上を図るとともに、マスメディアや県人会のネットワーク等を活用した広告宣伝の実施など広く国内外に向けた情報発信を推進します。

(1) 徳島県の魅力に関する情報発信

■人的ネットワークの活用

- ・全国各地で開催される県人会にて本県観光物産の紹介宣伝等を行うとともに、新たな交流・連携を開拓するため、県外への阿波おどり等の講師の派遣を行った。（総合政策課）
- ・関西広域連合管内のシルバー大学生等が一堂に会する「関西広域連合管内シルバー大学校共同講義事業」を大阪府で開催し、共同講義等を通じて交流を深めることで「府県を越えた新たな仲間づくり」や「新たな生きがいつくり」を図った。（長寿いきがい課）

■インターネット、携帯サイトの活用

- ・インターネットを活用した県産品のPRや県内事業者の電子商取引の促進を図り、販路拡大を図った。
 - ◆「あるねっと徳島」で県産品約700品をネット販売
 - ◆「楽天市場 あるでよ徳島」に出展し、県内事業者の電子商取引を推進
- ・「阿波ふうどスペシャリスト」のさらなるネットワーク化、発信力強化を図り、県産食材の積極的なプロモーションを実施し、県産食材のPR・販路拡大を推進した。（もうかるブランド推進課）

■情報発信拠点の充実

- ・災害時における通信手段の確保を図るとともに、平時には観光情報等の提供・発信に活用するため、避難所や観光施設等に整備した「とくしま無料Free Wi-Fi」の運営を行った。（地域振興課）
- ・県外本部内観光コーナー、都内アンテナショップなどのPRコーナーにおいて観光ポスターを展示するとともに、各種観光パンフレットを旅行業者や来客者に提供した。また、各種イベントにおいても積極的に観光情報の提供に努めた。（東京本部、大阪本部、名古屋事務所）
- ・県民や県外からの観光客に対し、県内で開催されるイベント等の情報を、道路情報板を用いて提供した。（道路整備課）
- ・観光情報サイト「阿波ナビ」等に、阿波地美栄料理提供店の照会ページ、四国遍路徳島編の特設ページを設置するなど、内容の充実を図った。（観光政策課）
 - ◆H28年度 観光情報サイトアクセス件数 約78万件

■県民一人一人の情報発信力の向上

- ・徳島県立総合大学校において、インターネットやパソコンについての講座を開催し、県民のスキルアップを支援した。（県立総合大学校本部）

■大都市圏でのアンテナショップの活用

- ・全国に向けた、徳島県産品・観光の情報発信や県産品の販路拡大を実現するため、大阪・名古屋での物産センターの運営や、東京・福岡・札幌においてコンビニ協働事業を活用したアンテナショップ、「阿波とくしまアンテナショップ」認定支援等による展開を図った。（観光政策課）

■観光・物産展の開催

- ・大都市圏の百貨店やスーパー等において、四国観光物産展や徳島県単独の観光物産フェアを開催できるように働きかけ、本県特産品の販路拡大と誘客を図った。（観光政策課）
- ・「新鮮 なっ！とくしま」号の機動力をフルに発揮し、県外量販店、徳島ヴォルティスのアウェイゲームなどのイベントに出動し、「徳島の食」を主体に、観光・文化を加えた「まるごと徳島」の情報発信を行った。（もうかるブランド推進課）

■総合的な情報発信活動の強化

- ・近畿圏等との交流拡大を図るため、近畿圏等の府県と広報紙等のスペースを交換し、「本県の魅力発信」を行った。（秘書課）
- ・「とくしま宝島協議会」において、「3旅連合同キャンペーン」や「徳島県観光市町村連絡協議会キャンペーン」を支援した。（観光政策課）
- ・「とくしま宝島協議会」において、メールマガジンの配信などにより、イベント情報の提供を図った。（観光政策課）
- ・大手企業や食品企業とのコラボ企画、県外での観光キャンペーンや県内のイベントや観光施設等での「すだちくん」によるとくしまの情報発信を行った。（地方創生推進課）
- ・「徳島国際短編映画祭」の開催や、徳島の自然・文化・食といったコンテンツをもりこんだPR動画の作成等を行い、国内外に情報発信を行った。（地方創生推進課）
- ・本県の認知度向上や観光客の増加を図るため、兵庫県（淡路島）と連携し、パスポート形式のスタンプラリーを行った。（観光政策課）
 - ◆H28年度 おどる宝島！パスポート発行数 約16万冊（累計）
 - ◆H28年度 おどる宝島！パスポートおもてなし施設数 約700施設（うち淡路島約50施設）



とくしまの店（大阪）



「新鮮 なっ！とくしま」号でのPR

(2) 様々なマスメディアによる魅力の発信

■ロケーションブランドの確立

- ・「徳島県ロケーション・サービス」を中心に、積極的にロケの誘致、支援を行った。
 - ◆ロケ支援件数 42件（映画1件、テレビ番組23件、CM4件、その他14件）
（観光政策課）

■マスメディアの露出効果の継続的活用

- ・「徳島国際短編映画祭」の開催や、徳島の自然・文化・食といったコンテンツをもりこんだPR動画の作成等を行い、国内外に情報発信を行った。（地方創生推進課）
- ・各種新聞やフリーペーパー等に、観光やイベントに関する広告や関連記事を掲載してもらうことにより、徳島県の観光等のPRに努めた。また、テレビや雑誌等の取材に対して積極的に協力し、観光素材や特産品のマスメディアへの露出効果を図った。（観光政策課）

(3) 旅行商品づくり

■旅行会社への積極的な情報提供

- ・3旅連主催による旅行AGTへのPRキャラバンや、県内市町村及び観光関連団体等による観光キャラバンに参加し、観光情報の発信に努めるとともに、旅行商品の造成を働きかけた。（観光政策課）
 - ◆3旅連主催による旅行AGTへのPRキャラバン H28.9.15
 - ◆しあわせぐるり、しこくるり。四国観光商談会（東京） H28.9.29
- ・旅行会社やメディアへの積極的な情報提供や企画提案により、魅力ある商品造成や誘客の促進を図った。（観光政策課）

5 国際観光の推進

方向性

徳島県が持つ豊かな自然や歴史的、文化的遺産、豊富な食材などを活用した外国人にも魅力高い観光メニューを創出するとともに、観光案内板の外国語表記など外国人観光客が快適に旅行ができるような受入環境の整備により徳島県への誘客を推進します。

(1) 国、地域の特徴に合わせた誘客の推進

■ 海外からの誘客活動の推進

- ・重点市場である香港、台湾市場に対し、送客実績のある旅行会社との連携を深め、本県の豊かな自然や体験メニューなど旅行ニーズの高い観光素材をアピールし、団体旅行客をターゲットにした商品造成を推進する。（国際課）

【香港市場への取組み】

- ◆香港国際旅行展示会への出展 H28.6.16～19
- ◆香港市場向けSNS開設 H28.7～
- ◆四国インバウンド商談会ファムツアーの実施 H28.10.18～20
- ◆「サイクリング・アイランド四国PR事業」におけるメディアファムツアーの実施 H28.10.25～26
- ◆「日本秋祭in香港」への阿波おどり派遣および本県の観光・物産の紹介 H28.11.2

【台湾市場への取組み】

- ◆高雄市旅行公会国際旅展への出展および日本旅遊商談会への参加 H28.5.12～16
- ◆台湾市場向けSNS開設 H28.7～
- ◆台湾プロガーファムツアーの実施 H28.10.18～20
- ◆四国インバウンド商談会ファムツアーの実施 H28.10.18～20
- ◆「サイクリング・アイランド四国PR事業」におけるメディアファムツアーの実施 H28.10.25～26



香港メディアファム

- ・四国や関西の各府県と連携し、韓国の旅行会社やメディアを招聘したファムツアーの実施するとともに、現地の旅行会社と共同で本県のPRを行った。
- ・シンガポールで開催された「S J 5 0 M A T S U R I」に阿波おどりを派遣するとともに、本県の観光・物産の紹介を行った。
- ・リオデジャネイロオリンピックにおいて勝浦「ビッグひな祭り」のひな人形を展示するとともに、本県の観光・物産の紹介を行った。
- ・関西広域連合、せとうち観光推進機構、四国ツーリズム創造機構とともに、観光庁により認定された広域観光周遊ルートを中心とした広域に及ぶ観光資源について相互に連携し、一体的な観光プロモーションを実施した。
- ・国内外からの観光誘客を一段と加速させるため、徳島ならではのクルーズ客船の積極的誘致活動やおもてなしの充実強化を図った。（運輸政策課）

■ 伝統文化等を活用した海外における観光宣伝活動

- ・ロシア、シンガポール、香港、台湾において阿波おどりを披露するとともに観光PRを実施し、外国人観光誘客の促進を図った。（国際課）



ダイヤモンドプリンセス

（２）効果的な情報発信

■ 効果的な情報発信の推進

- ・徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」外国語版ページ（英語・中国語簡体字・同繁体字・韓国語）のデザインを改修、コンテンツを拡充し、県内の観光情報を発信した。（国際課）
- ・英語によるフェイスブックページ「Discover Tokushima」及び香港・台湾・タイ市場向けのフェイスブックページを開設し、多言語により情報を発信した。（国際課）

(3) MICEの誘致

■地元高等教育機関との連携強化

- ・国際ミーティングエキスポ、東北地区&中国四国地区合同コンベンション誘致懇談会等へ参加し、主催者等に対する誘致PRを展開した。(県観光協会)
 - ◆第26回国際ミーティングエキスポ(横浜市)
H28.12.6~7 入場者数2,791人
 - ◆東北地区&中国四国地区合同コンベンション誘致懇談会(東京都)
H28.1.19 招待者数170人
 - ◆大阪MICEディスティネーションショーケース(大阪市)
H28.9.1 招待者数100名(うち海外19名)
- ・教育旅行等を四国地域に誘致するため、他県のコンベンションビューローと連携し、香港、韓国の関係者を対象にVJ地方連携事業に取り組んだ。
 - ◆韓国教育旅行誘致事業
H28.9.30~10.4 参加者5人
 - ◆香港MICE取扱旅行社招聘事業
H28.6.15~19 参加者5人



香港MICE取扱旅行社招聘事業



韓国教育旅行関係者招聘事業

(4) ニューツーリズムの推進

■新たな旅行商品の造成促進

- ・四国各県の連携により、遍路文化をテーマに観光庁の広域観光周遊ルートとして認定された「スピリチュアルな島~四国遍路~」および各県の観光資源を紹介した。(国際課)
- ・上海で開催されたアニメイベントにおいて「マチ★アソビ」をPRし、誘客を行った。(国際課)
- ・アニメキャラクターや作品群を活用し、徳島ならではのコンテンツに磨きをかけ、国内外に情報発信するとともに、交流の拡大を図った。(にぎわいづくり課)

(5) 受入環境の整備

■多言語表記の推進

- ・「徳島県訪日外国人受入環境整備事業助成金」の制度を実施し、県内事業者を対象に多言語表記やW i - f i環境整備等に関する経費を助成をした。(国際課)

■外国人観光客への案内サービスの向上

- ・とくしま国際戦略センターにおいて外国人観光案内業務を実施し、観光情報の提供、問い合わせへの対応を行った。(国際課)
- ・平成28年3月に発足した善意通訳団体「徳島G Gクラブ」の活動を支援した。(国際課)

■観光情報収集の利便性向上

- ・県内の観光施設等の情報を掲載した多言語対応観光アプリケーションを制作・公開した。

(6) 海外との相互交流

■海外とのネットワークづくりによる相互交流の活性化

- ・ドイツ・ニーダーザクセン州やアジア諸地域にある学校との間でパートナーシップ協定締結促進による学校間交流を促進した。(学校教育課)
- ・次世代のグローバル・リーダーを育成するため、県南の施設を活用して、高校生が、英語を通して多様な価値観を持った多国籍・同世代の学生と交流し、世界を意識した自己探求できる場を創造した。(学校教育課)

◆実施期間：H28.8.16～22 6泊7日

実施内容：少人数セミナー、フォーラム、地域ワークショップ、フリーインタラクション

参加者：高校生 50名(県内30名、県外19名)

ハーバード大学を中心とした海外大学生 14名

国内バイリンガル大学生 14名

県内外の大学生実行委員 20名程度



徳島サマースクール
フリーインタラクション

6 広域観光の推進

方向性

徳島県内の各観光地の連携、市町村間の連携、さらには近隣府県との連携により観光集客力を高めるよう広域観光施策を推進します。

(1) 広域的な観光地の形成

■観光地の連携による滞在型観光の推進

- ・本県の認知度向上や観光客の増加を図るため、兵庫県（淡路島）と連携し、お得な割引きを受けられるクーポンの実施やパスポート形式のスタンプラリーを行った。（観光政策課）
 - ◆H28年度 おどる宝島！パスポート発行数 約16万冊（累計）
 - ◆H28年度 おどる宝島！パスポートおもてなし施設数 約700施設
（うち淡路島約50施設）
- ・「体験型観光」による地域振興を一層推進するため、個人向け商品の開発や農林漁家民宿の開業等を促進するなど受入組織への支援に取り組んだ。（南部総合県民局）
- ・香川せとうちアート観光圏と連携して、両観光圏の滞在プログラムを組み合わせた旅行商品の造成に繋げるため、首都圏で旅行会社やメディアを集めたセミナーを開催するとともに、両観光圏を回るファミツアーを実施した。（西部総合県民局）

(2) 四国4県、関西圏及び瀬戸内エリア等での連携

■近隣府県と一体となった観光への取組み

- ・関西広域連合、せとうち観光推進機構、四国ツーリズム創造機構とともに、観光庁により認定された広域観光周遊ルートを中心とした観光資源について相互に連携し、一体的な観光プロモーションを実施した。（国際課）
- ・中国四国及び兵庫県等との連携により、外国人旅行者向け的高速道路周遊割引企画「山陰・瀬戸内・四国エクスプレスウェイパス」の発行を開始した。（国際課）
- ・「四国ツーリズム創造機構」と連携し、四国はひとつとしての官民一体となった観光の推進に取り組んだ。（観光政策課）
- ・「淡路島&徳島とくたく周遊ガイド」の作製・配布や、「ひょうご・とくしまツーリズムバス事業」により兵庫県との連携を図った。（観光政策課）

7 「阿波とくしま」らしいにぎわいの創出

方向性

多くの人が集まる場には、活気とにぎわいが生まれ、そして人や物、情報など様々な交流が図られ、地域の活性化が期待できます。阿波おどりに代表されるような多くの人でにぎわう徳島づくりを目指して、「阿波とくしま」にふさわしいにぎわいの創出を推進します。

(1) イベントの開催などによる集客

■ 地域資源の活用、市町村や地域団体との連携による集客力の向上

- ・首都圏において、観光物産キャンペーンを開催し、阿波おどりや県産品を積極的に活用して、イベントの集客力を向上し、本県の県産品のPRと観光誘客を図った。(観光政策課)
 - ◆「羽田空港」徳島観光プロモーション H28.7.22~24 H28.11.13
 - ◆キラリ☆フェスタinシェラトン都ホテル大阪 H28.8.3
- ・とくしまマラソン2017前日に、初心者やファミリー層をターゲットとした「ファンラン」をランニングイベントと併せて開催するとともに、マラソン当日の「後夜祭」においては、内容を拡大して開催した。(にぎわいづくり課)
 - ・「マチ★アソビvol.16」(H28.5.3~5.5)、「ぷち★アソビvol.5」(H29.3.4~3.5)「マチ★アソビvol.17×国際アニメ映画祭」(H28.9.24~10.10)の開催を支援した。
- ・第9回「とくしまマラソン」(H28.4.24)、第10回「とくしまマラソン」(H29.3.26)の開催準備を行った。(にぎわいづくり課)



「羽田空港」徳島観光プロモーション



キラリ☆フェスタ

(2) コンベンション誘致

■コンベンション実施主体への助成

- ・国内・国際コンベンションの誘致を促進するため、開催計画などの情報収集と意向調査に努め、関係団体等にその情報提供を行った。また、魅力あるアフターコンベンション情報を主催者に対して的確に発信し、県内での滞在日数や周遊箇所数の拡大に努めた。
- ・コンベンション主催者に対する開催経費や郷土芸能等のアトラクション、シャトルバス運行等の助成を行い、延べ1000泊以上のコンベンションについては、さらに県立施設の使用料相当額の助成を行うことで、コンベンション誘致促進を図った。
- ・商談会、個別営業活動により、コンベンションの助成内容を積極的に発信した。
 - ◆第26回国際ミーティングエキスポ（横浜市）
H28.12.6～7 入場者数2,791人
 - ◆東北地区&中国四国地区合同コンベンション誘致懇談会（東京都）
H29.1.31 招待者数128人
 - ◆大阪MICEディスティネーションショーケース（大阪市）
H28.9.1 招待者数100名（うち海外19名）
 - ◆韓国教育旅行誘致事業
H28.9.30～10.4 参加者5人
 - ◆香港MICE取扱旅行社招聘事業
H28.6.15～19 参加者5人

(3) スポーツによるにぎわいづくり

■交流人口の増加

- ・国内外のマラソン大会等において、とくしまマラソンのPR活動を行った。（にぎわいづくり課）
- ・合宿や交流試合を実施するためのワンストップサービスを実施するとともに、スポーツ合宿を扱う旅行代理店や企業に対してPR活動を行った。（にぎわいづくり課）
 - ◆合宿情報誌HPにスポーツ王国HPのリンク掲載
 - ◆関西の合宿専門取扱旅行会社5社を訪問し、本県の合宿誘致セールを実施
- ・鳴門渦潮高校と鳴門・大塚スポーツパークを中心に、県内のスポーツ拠点を活用して、高校生のトップアスリートを招聘し、合同練習・試合をとおして、県内の高校生競技力の向上につなげるとともに、交流人口の増加を図った。（体育学校安全課）
- ・サイクルスポーツを通じた新しい魅力を創り出すとともに、「徳島県スポーツ推進計画」の効果的かつ円滑な推進を通じて、「ライドラリーの実施」、「ライドイベントの安全安心の支援」、「自転車利用促進協議会の開催」等を実施した。（県民スポーツ課）

■プロスポーツチームの集客力や情報発信力を活用してのにぎわいの創出

- ・優秀選手の表彰、小中学生グループ招待を実施。また、ホームゲームにおいて「徳島ヴォルティスホームタウン協議会」との連携事業を実施した。（にぎわいづくり課）
- ・県外事務所や県内市町村、観光関連団体等が連携し、徳島ヴォルティスの試合会場などに参加し、本県の観光PRや誘客施策を推進した。（県観光協会）

「徳島県観光振興基本計画（第2期）」数値目標
平成28年度進捗状況一覧表

数値目標（項目）	単位	現況値		実績値 (28年度)	目標値		H28年度進捗状況の説明 (28年度実績値がない場合は、 27年度進捗状況とする)	所属
		年度	年度		年度	年度		
【戦略目標】								
宿泊者数	万人	226	25	238	300	30	着地型旅行商品の販売促進や「ふるさと旅行券」の発行など、宿泊者数増加及び観光誘客促進に向けた取組みを実施した。	観光政策課
外国人宿泊者数	人	32,310	25	69,450	80,000	30	重点市場である香港、台湾でのプロモーション、TV局の取材の受入れ、SNSでの情報発信など、宿泊者数増加及び観光誘客促進に向けた取組みを実施した。	国際課
コンベンション参加者数 (中四国規模以上)	人	96,494	25	133,643	130,000	30	積極的な誘致活動、開催助成金の支給等により、コンベンション誘致の促進に取り組んだ。	観光政策課
【個別目標】								
＜3つの核となる重点施策＞								
1 観光目的客の取り込み ～個人旅行の誘客促進～								
延べ宿泊者数<再掲>	万人	226	25	238	300	30	着地型旅行商品の販売促進や「ふるさと旅行券」の発行など、宿泊者数増加及び観光誘客促進に向けた取組みを実施した。	観光政策課
延べ観光入込客数	万人	1,964	25	1,990	2,300	30	着地型旅行商品の販売促進や「ふるさと旅行券」の発行など、宿泊者数増加及び観光誘客促進に向けた取組みを実施した。	観光政策課
「おどる宝島！パスポート」 発行数（累計）	冊	20,000	25	160,000	200,000	30	県内の観光地や宿泊施設、飲食店等において「おどる宝島！パスポート」を配布し、リピーターの来県を促進する取組みを実施した。	観光政策課
「マチ★アソビ」 年間参加者数	千人	113	25	157	160	30	海外アニメイベントにおいて、「マチ★アソビ」をPRするとともに、海外からコスプレイヤーの招聘や観光モデルコースの検証を行うなど誘客の促進に努めた。	にぎわいづくり課
「とくしまマラソン」 2万人大会の開催	大会	1万人	25	1.5万人	2万人	30	第9回、第10回「とくしまマラソン」の開催準備を行った。	にぎわいづくり課
体験型教育旅行における 協議会受入泊数	泊	5,646	25	6,302	7,000	30	本県の持つ豊かな自然や食材等を利用し、教育旅行の誘致・受入れに積極的に取り組んだ。	観光政策課
2 ビジネス目的客の取り込み								
コンベンション参加者数 (中四国規模以上)<再掲>	千人	96	25	134	130	30	積極的な誘致活動、開催助成金の支給等により、コンベンション誘致の促進に取り組んだ。	観光政策課
3 「訪日外国人4000万人時代」に向けた取組み								
外国人延べ宿泊者数<再掲>	千人	32	25		80	30	重点市場である香港、台湾でのプロモーション、TV局の取材の受入れ、SNSでの情報発信など、宿泊者数増加及び観光誘客促進に向けた取組みを実施した。	国際課
外国人延べ入込客数	千人	38	25	39	100	30	重点市場である香港、台湾でのプロモーション、TV局の取材の受入れ、SNSでの情報発信など、宿泊者数増加及び観光誘客促進に向けた取組みを実施した。	国際課
＜7つの基本方針＞								
1 将来の観光を担う人材の育成								
「とくしま観光講座」 受講者数（累計）	人	513	25	751	900	30	着地型旅行商品造りの手法や販売戦略等についてのセミナーを開催した。	観光政策課
体験型観光のインストラクター 研修の実施数（累計）	回	18	25	25	28	30	「南阿波よくばり体験推進協議会」において、インストラクターの研修・養成講座を開催し、体験型観光指導者の育成に取り組んだ。	観光政策課
2 「阿波とくしま」の魅力あふれる観光地づくり								
「おどる宝島！パスポート」 発行数（累計）<再掲>	冊	20,000	25	160,000	200,000	30	県内の観光地や宿泊施設、飲食店等において「おどる宝島！パスポート」を配布し、リピーターの来県を促進する取組みを実施した。	観光政策課
とくしま特選ブランドの 商品総売上額	億円	14	25	94	28	30	世界に誇れるトップブランドをコンセプトに、国内外に誇れる品質、商品ストーリー、独自のこだわりの各要素を持ち合わせた県産品を「とくしま特選ブランド」として広くPRした。	観光政策課

「徳島県観光振興基本計画（第2期）」数値目標
平成28年度 進捗状況一覧表

数値目標（項目）	単位	現況値		実績値 (28年度)		目標値		H28年度進捗状況の説明 (28年度実績値がない場合は、 27年度進捗状況とする)	所属
		年度	年度	年度	年度	年度	年度		
観光の日における 美化参加団体数（累計）	団体	55	25	77	150	30	県内の市町村に観光地等の美化活動について協力依頼を周知し、各地の美化活動の推進に取り組んだ。	観光政策課	
県南地域への「四国8の字 ネットワーク」の整備	—	—	25	徳島JCT (仮称) ～徳島IC 整備促進 用地取得 完了（本 線工事着 工率 100%）	徳島JCT (仮称) ～阿南IC (仮称) 用地取 得・工事 促進	徳島JCT (仮称) ～阿南IC (仮称) 工事全面 展開中	徳島JCT（仮称）～阿南IC（仮称）について、 用地取得及び工事を促進した。	高規格 道路課	
3 新たな観光旅行の開拓と滞在型観光の推進									
延べ宿泊者数<再掲>	万人	226	25	238	300	30	着地型旅行商品の販売促進や「ふるさと旅行券」の発行など、宿泊者数増加及び観光誘客促進に向けた取組みを実施した。	観光政策課	
延べ観光入込客数<再掲>	万人	1,964	25	1,990	2,300	30	着地型旅行商品の販売促進や「ふるさと旅行券」の発行など、宿泊者数増加及び観光誘客促進に向けた取組みを実施した。	観光政策課	
体験型教育旅行における 協議会受入泊数<再掲>	泊	5,646	25	6,302	7,000	30	本県の持つ豊かな自然や食材等を利用し、教育旅行の誘致・受入れに積極的に取り組んだ。	観光政策課	
とくしま農林漁家民宿の 体験宿泊者数	人	1,780	25	3,370	3,200	30	農林漁家民宿を対象とする研修会の開催や新規開業支援、HPやイベント等でのPR活動に積極的に取り組んだ。	農林水産 政策課	
県産品を使ったメニュー・ 商品開発数（累計）	件	107	25	216	220	30	コンビニエンスストアやスーパーマーケット等との連携による県産品を使った商品開発を行い、県産品の魅力を発信した。	観光政策課	
4 情報発信の強化による「観光とくしまブランド」の確立									
観光情報サイトアクセス件数	万件	70	25	78	90	30	「阿波ナビ」サイトの改善や、提供情報の充実を図った。	観光政策課	
県外で県産品を食べられる 店舗数	件	62	25	112	150	30	県外で県産品を食べられる店、県外で県産品が買える店を掘り起こすことにより、県産品の販売体制の充実を図った。	観光政策課	
県産品を使ったメニュー・ 商品開発数（累計）<再掲>	件	107	25	182	220	30	コンビニエンスストアやスーパーマーケット等との連携による県産品を使った商品開発を行い、県産品の魅力を発信した。	観光政策課	
アンテナショップ(コンビニ) の新規取扱商品数（累計）	件	181	25	399	400	30	全国に向けた、徳島県産品・観光の情報発信や県産品の販路拡大を実現するため、コンビニ協働事業を活用したアンテナショップ等による展開を実施した。	観光政策課	
映画、ドラマ、CM等の ロケ撮影支援件数（累計）	件	265	25	374	380	30	的確な情報提供とアテンドにより、県内ロケの支援・誘致を積極的に行った。	観光政策課	
5 国際観光の推進									
外国人延べ宿泊者数<再掲>	千人	32	25	69	80	30	重点市場である香港、台湾でのプロモーション、TV局の取材の受入れ、SNSでの情報発信など、宿泊者数増加及び観光誘客促進に向けた取組みを実施した。	国際課	
外国人延べ入込客数<再掲>	千人	38	25	39	100	30	重点市場である香港、台湾でのプロモーション、TV局の取材の受入れ、SNSでの情報発信など、宿泊者数増加及び観光誘客促進に向けた取組みを実施した。	国際課	
6 広域観光の推進									
ひょうご・とくしまツーリズム ムバス助成件数（累計）	件	267	25	345	410	30	兵庫県と連携したバス団体旅行への支援を行うことにより、広域観光の推進に取り組んだ。	観光政策課	
7 「阿波とくしま」らしいにぎわいの創出									
コンベンション参加者数 (中四国規模以上)<再掲>	千人	96	25	134	130	30	積極的な誘致活動、開催助成金の支給等により、コンベンション誘致の促進に取り組んだ。	観光政策課	
「とくしまマラソン」 2万人大会の開催<再掲>	大会	1万人	25	1.5万人	2万人	30	第9回、第10回「とくしまマラソン」の開催準備を行った。	にぎわい づくり課	